

DENON[®]

DCD-755RE

CDプレーヤー

取扱説明書

- お買い上げいただき、ありがとうございます。
- ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
- お読みになったあとは、いつでも見られるところに「保証書」・「製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内」と共に大切に保管してください。
- この製品は持ち込み修理対象製品です。
出張修理をご希望される場合は、別途出張料をご請求させていただくことになりますので、あらかじめご了承ください。詳しくは、「保証と修理について」(P.29 ページ)をご覧ください。

ご使用になる前に

お買い上げいただきありがとうございます。お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。

安全上のご注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ずよくお読みください。

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その絵表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例

図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。



感電注意

△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。



分解禁止

⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。



電源プラグをコンセントから抜く

●記号は行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



万一異常が発生したら、電源プラグをすぐに抜く

電源プラグをコンセントから抜く

- 煙や異臭、異音が出たとき
- 落としたり、破損したりしたとき
- 機器内部に水や金属類、燃えやすいものなどが入ったとき

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体と接続している機器の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、安全を確認してから販売店にご連絡ください。お客様による修理などは危険ですので絶対におやめください。



ご使用は正しい電源電圧で

表示された電源電圧以外で使用しないでください。
必ず実施 火災・感電の原因となります。



電源コードは大切に

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら、すぐに販売店に交換をご依頼ください。



電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着しているときは

必ず実施 電源プラグをコンセントから抜いて、乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



火気禁止

火や炎を近づけない

本機の上でろうそくを灯す・タバコの灰皿を使用するなどの火や炎の発生しているものを置かないでください。火災の原因となります。



禁止

内部に水などの液体や異物を入れない

機器内部に水などの液体や金属類、燃えやすいものなどを差し込んだり、落としたりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



水ぬれ禁止

水滴や水しぶきのかかるところに置かない

雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。水がかかったり、濡れた状態で使用すると火災・感電の原因となります。



分解禁止

ねじを外したり、分解や改造したりしない

内部には電圧の高い部分がありますので、火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。



接触禁止

雷が鳴り出したら

機器や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。



接触禁止

使用中、使用直後に高温となる部分には触らない

使用中、使用直後は上面や高温注意マークの面には触れないでください。機器の放熱のために高温となっており、触れた場合にやけどをする恐れがあります。



高温注意



禁止

乾電池は充電しない

電池の破裂・液漏れにより、火災・けがの原因となります。



水場での使用禁止

風呂・シャワー室では使用しない

火災・感電の原因となります。



水ぬれ禁止

この機器の上に花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品や水などが入った容器、および小さな金属物を置かない

こぼれたり、中に入ったりした場合、火災・感電の原因となります。

⚠️ 注意

❗ 電源コードは確実に接続し、束ねたまま使用しない
 必ず実施 電源コードを接続するときは接続口に確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、火災・感電の原因となることがあります。

🚫 禁止
 根元まで差し込んでゆるみがあるコンセントには接続しないでください。その場合、販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

また、電源コードは束ねたまま使用しないでください。発熱し、火災の原因となることがあります。

🚫 電源コードを熱器具に近付けない
 禁止 コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

🚫 電源プラグを抜くときは
 禁止 電源コードを引っ張らずに必ずプラグを持って抜いてください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

🚫 濡れた手で電源プラグを抜き差ししない
 ぬれ手禁止 感電の原因となることがあります。

👉 すぐにコンセントから電源プラグを抜くことができるように設置する
 電源プラグをコンセントから抜く 電源のスイッチを切ってもコンセントからは完全に遮断されていません。万一の事故防止のため、本機をコンセントの近くに置き、すぐにコンセントから電源プラグを抜くことができるようにしてください。

❗ 機器の接続は説明書をよく読んでからおこなう
 必ず実施 テレビ・オーディオ機器・ビデオ機器などの機器を接続する場合は、電源を切り、各々の機器の取扱説明書に従っておこなってください。

また、接続には指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

❗ 電源を入れる前には音量を最小にする
 必ず実施 突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

🚫 長時間音が歪んだ状態で使用しない
 禁止 スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

❗ 電池を使用するときは
 必ず実施

- 極性表示に注意し、表示のとおり正しく入れる。
- 指定以外の電池は使用しない。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。
- 電池は火のそばや直射日光のあたるところ、暖房器具などの高温の場所に置かないでください。
- 不要になった乾電池を廃棄するときはお住まいの地域の条例に従って処理してください。

間違えると電池の破裂・液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

🚫 不安定な場所に置かない
 禁止 ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

🚫 次のような場所には置かない
 禁止 火災・感電の原因となることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるようなところ
- 湿気やほこりの多いところ
- 直射日光のあたるところや暖房器具の近くなど高温になる場所

❗ 壁や他の機器から少し離して設置する
 必ず実施 放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面や背面から少し隙間をあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

⚠️ ディスク挿入口に手を入れない
 特にお子様にご注意ください。けがの原因となることがあります。万一手を挟まれた場合は、すぐに本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

⚠️ 手の挟み込み注意
 指のけがに注意

🚫 レーザー光源をのぞき込まない
 禁止 レーザー光が目にあたると視力障害を起こすことがあります。

🚫 ヘッドホンを使用するときは音量を上げすぎない
 禁止 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

🚫 この機器に乗ったり、ぶら下がったりしない
 禁止 特に幼いお子様のいるご家庭では、ご注意ください。倒れたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

🚫 重いものをのせない
 禁止 機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因となることがあります。

👉 移動させるときは
 電源プラグをコンセントから抜く まず電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してからおこなってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

👉 長期間の外出・旅行のとき、またはお手入れのときは
 電源プラグをコンセントから抜く 安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電の原因となることがあります。

⚠️ 5年に一度は内部の掃除を
 注意 販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前におこなうと、より効果的です。なお、内部の掃除費用については販売店などにご相談ください。

目次

ご使用になる前に	2
安全上のご注意	2
目次	4
使用上のご注意	5
付属品を確認する	5
本機の特長	5

基本編

接続のしかた	7
接続に使用するケーブル	7
2チャンネルオーディオアンプを接続する	7
デジタル録音機器を接続する	7
iPod/USB端子にiPodまたはUSBメモリーを接続する	8
電源コードを接続する	9
オートスタンバイモードの設定のしかた	9

操作編

再生のしかた	11
電源を入れる	11
CDプレーヤーを再生する	11
MP3やWMAファイルの再生	12
iPod®の再生	13
USBメモリーの再生	14
再生中にできる操作	15
タイマー再生をおこなう	17

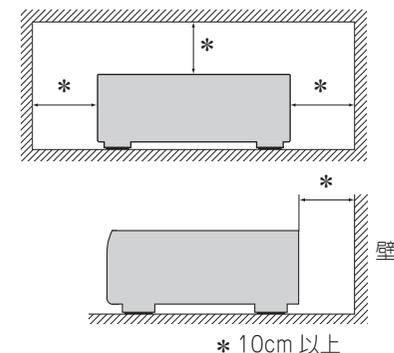
情報編

各部の名前とはたらき	19
フロントパネル	19
ディスプレイ	20
リアパネル	20
リモコン	21
その他の情報	23
再生できるメディア	23
メディア使用時のご注意	25
用語の解説	26
故障かな?と思ったら	27
保証と修理について	28
主な仕様	29

使用上のご注意

設置について

本機内部の放熱をよくするために、壁や他の機器との間は、十分に離して設置してください。



携帯電話使用時のご注意

本機の近くで携帯電話をご使用になると、雑音が入る場合があります。携帯電話は本機から離れた位置で使用してください。

お手入れについて

- キャビネットや操作パネル部分の汚れは、やわらかい布で軽く拭き取ってください。化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- ベンジンやシンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると、変質や変色の原因になりますので使用しないでください。

結露(つゆつき)について

本機を寒いところから急に暖かいところに移動させたり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部(動作部)に水滴が付くことがあります(結露)。結露したまま本機を使用すると、正常に動作せず、故障の原因となることがあります。結露した場合は、本機の電源を切ったまま1~2時間放置してから使用してください。

換気についてのご注意

本機をたばこなどの煙が充満している場所に長時間置くと、光学式ピックアップの表面が汚れ、正しい信号の読み取りができなくなることがあります。

移動させるときのご注意

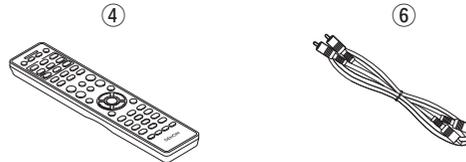
最初にディスクを取り出して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

次に、機器間の接続ケーブルを外してからおこなってください。

付属品を確認する

ご使用前にご確認ください。

① 取扱説明書	1
② 保証書(梱包箱に貼り付けています)	1
③ 製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内	1
④ リモコン (RC-1173)	1
⑤ 単4形乾電池	2
⑥ オーディオケーブル	1



本機の特長

AL32 Processing と High-precision 32bit / 192 kHz D/A コンバーター

DENON 独自のアナログ波形再現技術 AL32 Processing を搭載。

16bit のデジタルデータを 32bit に拡張することで微小信号の再現性を高めました。

AL32 Processing で拡張したデジタルデータをアナログ信号に変換するために 32bit/192kHz に対応した高性能 D/A Converter を採用しています。

USB と iPod のダイレクト再生

フロントパネルに USB 端子を装備。USB プレイヤーや USB メモリーを接続して MP3/WMA ファイルを再生できます。

iPod は iPod に付属の専用 USB ケーブルを使って接続します。iPod や USB プレイヤーまたは USB メモリーの音楽ファイルをデジタル信号で伝送し、本機のオーディオ回路により、高音質なオーディオ再生をお楽しみいただけます。

16 文字・2 行表示の大型表示管

MP3 ファイルや iPod の再生中、大型表示管に文字情報を表示します。

スタンバイ時の消費電力を低減

環境への影響に配慮してスタンバイ時の消費電力を 0.3W 以下に抑えています。

ステレオ音のエチケット



- 隣近所への配慮(おもいやり)を十分にいたしましょう。
- 特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。

基本編

ここでは、本機の基本的な接続や操作方法について説明しています。

- 接続のしかた  7 ページ
- オートスタンバイモードの設定のしかた  9 ページ

接続のしかた

この取扱説明書では、対応するすべての音声信号方式の接続方法を説明しています。接続する機器に合わせていずれかの接続方法をお選びください。

ご注意

- すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください
- 接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 左右のチャンネルを確かめてから、正しくLとL、RとRを接続してください。
- 接続ケーブルは、電源コードやスピーカーケーブルと一緒に束ねないでください。ハムや雑音の原因となることがあります。

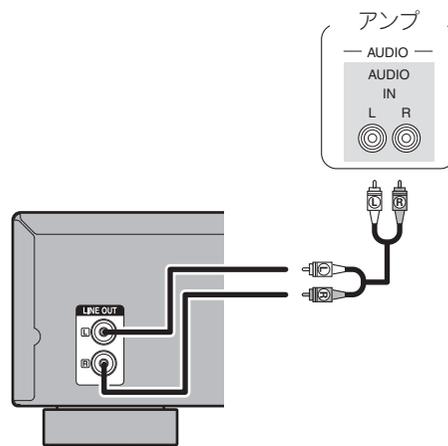
接続に使用するケーブル

ご使用になる機器に合わせて、ケーブルをご用意ください。

オーディオケーブル	
オーディオケーブル (付属)	
光伝送ケーブル (別売)	
iPod 専用ケーブル (別売)	

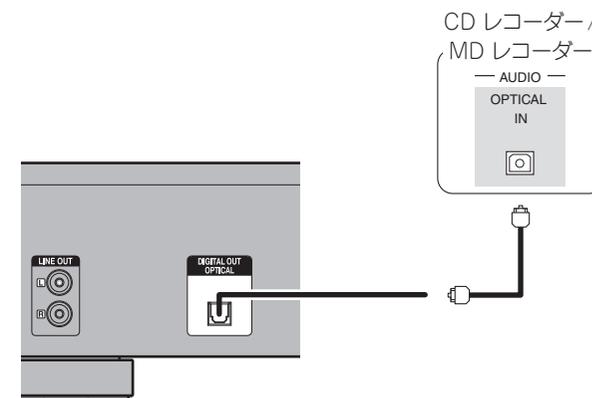
2チャンネルオーディオアンプを接続する

本機の音声をアナログ2チャンネル音声入力端子がある機器で再生するときの接続です。



デジタル録音機器を接続する

本機の音声を光デジタル音声入力を備えている録音機器で録音するときの接続です。



デジタル出力端子(OPTICAL)を光伝送ケーブル(別売り)で接続するとき



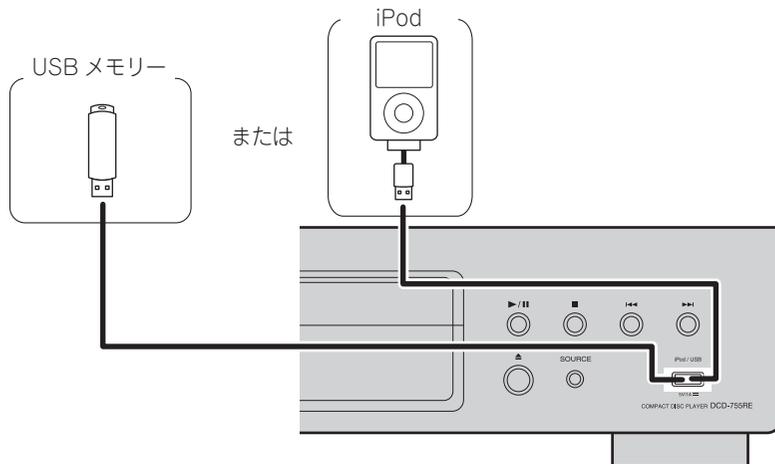
形状を合わせて奥までしっかりと差し込んでください。

iPod/USB 端子に iPod または USB メモリーを接続する

- iPod や USB メモリー内の音楽を楽しむことができます。
- 操作のしかたは、「iPod® の再生」(P.13 ページ) または「USB メモリーの再生」(P.14 ページ) をご覧ください。

接続に使用するケーブル

本機と iPod を接続するときは、iPod に付属の USB ケーブルをお使いください。



すべての USB メモリーに対して、動作および電源の供給を保証するものではありません。USB 接続タイプのポータブル HDD で、AC アダプターを接続して電源が供給できるタイプのものをお使いになる場合は、AC アダプターのご使用をおすすめします。

ご注意

- USB メモリーは USB ハブ経由では動作しません。
- 本機の iPod/USB 端子とパソコンを USB ケーブルで接続して使用することはできません。
- USB メモリーを接続するときに、延長ケーブルを使用しないでください。他の機器に電波障害を引き起こす場合があります。
- 本機に iPhone を接続するときは、iPhone を本機から 20cm 以上離してください。iPhone を本機に近づけると、iPhone が電話を受信したときに、本機の音声出力にノイズが入ることがあります。
- iPod の接続に 2m 以上の USB ケーブル(別売り)を使用すると、音声为正しく再生できない場合があります。その場合は、純正の USB ケーブルもしくは 1m 以下のケーブルをお使いください。

対応している iPod/iPhone

• iPod classic



iPod classic
80GB



iPod classic
160GB (2007)



iPod classic
160GB (2009)

• iPod nano



iPod nano
3rd generation
(video)
4GB 8GB



iPod nano
4th generation (video)
8GB 16GB



iPod nano
5th generation (video camera)
8GB 16GB



iPod nano
6th generation
8GB 16GB

• iPod touch



iPod touch
1st generation
8GB 16GB 32GB



iPod touch
2nd generation
8GB 16GB 32GB



iPod touch
3rd generation
32GB 64GB



iPod touch
4th generation
8GB 32GB 64GB

• iPhone



iPhone
4GB 8GB 16GB



iPhone 3G
8GB 16GB



iPhone 3GS
8GB 16GB 32GB



iPhone 4
8GB 16GB 32GB

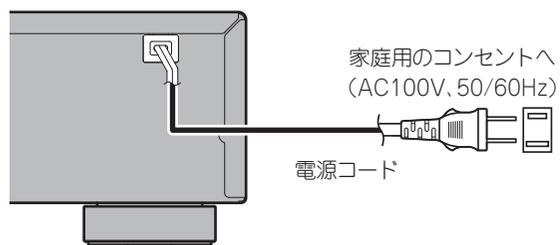


iPhone 4S
16GB 32GB 64GB

(2012年5月現在)

電源コードを接続する

すべての接続が終わってから、電源コードを接続してください。



ご注意

- すべての接続が終わるまで、電源コードを接続しないでください。
- 電源プラグはしっかりと差し込んでください。不完全な差し込みは、雑音の原因になります。
- 本機が動作しているときは、電源コードを抜かないでください。

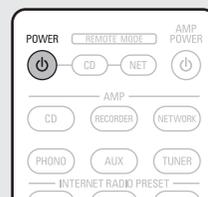
オートスタンバイモードの設定のしかた

本機を何も操作せずに 30 分以上停止した状態が続くと、本機の電源は自動的にスタンバイになります。

- 初期状態はオンです。

POWER 電源 ボタンを 5 秒以上押す。

- オートスタンバイモードのオンとオフが切り替わります。
- スタンバイ中の電源表示が次のように切り替わります。



オートスタンバイモード“オフ”
“赤色”

オートスタンバイモード“オン”
“消灯”

- オートスタンバイモードの設定操作中は電源表示が赤色に点滅しません。



- 電源がオンのときにオートスタンバイモードの設定操作をおこなうと、設定完了と同時に本機はスタンバイになります。
- 本機で iPod の充電中に本機の電源をスタンバイにしても、iPod の充電を続けます。

ご注意

iPod の表示モードをリモートモードに設定しているときは、本機のオートスタンバイモードは動作しません。

操作編

ここでは、本機を正しくお使いいただくための操作方法や機能を説明しています。

- 再生のしかた  11 ページ

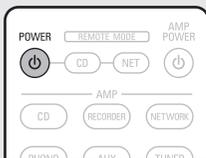
再生のしかた

電源を入れる

リモコンを使う前にリモコンに電池を入れてください。
(P.23 ページ「乾電池の入れかた」)。

POWER 電源ボタンを押して本機の電源を入れる。

- 電源表示が緑色に点灯し、電源がオンになります。



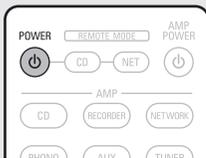
- ディスクが入っていないときは、“NO DISC”を表示します。

電源をスタンバイにする

POWER 電源ボタンを押す。

本機はスタンバイになります。

- 電源表示
 - スタンバイ 赤
 - オートスタンバイモード 消灯
 - iPod チャージスタンバイ オレンジ



電源をオフにする

本体の **電源** ボタンを押す。

電源表示が消灯します。



- 必ず再生を止めてから電源を切ってください。
- ディスクトレイが完全に閉まってから電源をオフにしてください。

ご注意

電源をスタンバイ状態にしても、一部の回路は通電しています。

長期間の外出やご旅行の場合は、電源ボタンを押して電源を切るか、電源プラグをコンセントから抜いてください。

CD プレーヤーを再生する

1 **POWER** 電源ボタンを押して本機の電源を入れる。

2 **SOURCE** ボタンを押して、再生メディアモードを“DISC”にする。

3 本機の **ディスク** ボタンを押してディスクトレイを開き、ディスクを入れる。

4 **再生/一時停止** ボタンを押す。

- 再生表示が消灯します。
- ディスクトレイが閉まり、再生をはじめます。



好きな曲を聴くには(リモコンのみ)

0 - 9, +10 ボタンで再生したい曲の番号を選ぶ。

【例】 : 4 曲目 : [4]

【例】 : 12 曲目 : [+10], [2]

再生中にできる操作 (P.15 ページ)

ご注意

ディスクトレイには CD 以外の物を入れないでください。故障の原因となります。

MP3 や WMA ファイルの再生

インターネットのホームページ上には、MP3 形式や WMA (Windows Media[®] Audio) 形式の音楽ファイルをダウンロードできる様々な音楽配信サイトがあります。そのサイトからダウンロードした音楽(ファイル)を CD-R/CD-RW に書き込むことにより、本機で再生することができます。

“Windows Media” および “Windows” は、米国やその他の国で、米国 Microsoft Corporation の登録商標または商標になっています。

MP3 や WMA ファイルを再生する

1 POWER 〻 を押して本機の電源を入れる。

2 MP3 や WMA 形式の音楽ファイルを書き込んだ CD-R/CD-RW をディスクトレイに入れる。

3 MODE ボタンを押して、“フォルダモード” または “ディスクモード” を選ぶ。

表示について

フォルダモードのとき

“FLD” 表示が点灯します。
選択したフォルダ内のすべてのファイルを再生します。

ディスクモードのとき

“FLD” 表示は消灯します。
選択したフォルダおよびファイルの再生後、すべてのフォルダ内のファイルを再生します。



4 △▽ ボタンを押して、再生したいフォルダを選ぶ。

5 ◀▶ または ◀ ▶ ボタンを押して、再生したいファイルを選ぶ。

6 ▶/|| を押す。
再生をはじめます。

再生中にフォルダやファイルを変えるには

フォルダ

△▽ でフォルダを選び、ENTER を押す。

ファイル

◀▶ でファイルを選び、ENTER を押す。
または ◀▶▶▶ でファイルを選ぶが、0-9, +10 でファイル番号を選ぶ。

※ ファイル番号は、ディスク読み込み時に自動で設定されます。



著作権保護されたファイルは再生できません。

(この場合 “Not Support” を表示します。)

また書き込みソフトや状態により、再生できない場合や正しく表示できない場合があります。

表示を切り替えるには

再生中に INFO を押す。



表示できる文字は次の通りです。

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
0123456789
! " # \$ % & ; : < > ? @ | [] _ ` { } ~ ^ ' () * + , - . / =
(スペース)

リピート再生をするには

REPEAT を押す。

それぞれのリピート再生をはじめます。

• “フォルダモード” および “ディスクモード” では選択できるリピートモードが異なります。

“フォルダモード”のとき



◀▶ 1 FLD 1 曲リピート 選んだファイルのみをくり返し再生します。

◀▶ FLD フォルダ内の全曲リピート 選んだフォルダ内のすべてのファイルをくり返し再生します。

FLD フォルダモード再生に戻ります。

“ディスクモード”のとき



◀▶ 1 選んだファイルのみをくり返し再生します。

◀▶ ALL ディスクのすべてのファイルをくり返して再生します。

Repeat off 通常の再生モードに戻ります。

再生中にできる操作 (15 ページ)

ご注意

MP3/WMA のディスクではプログラム再生はできません。

iPod® の再生

iPod の音楽を聴くことができます。さらに、本機およびリモコンで iPod を操作することができます。



“Made for iPod” means that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod and has been certified by the developer to meet Apple performance standards.

Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards.

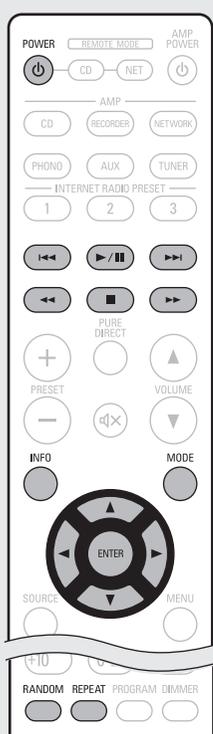
iPod is a trademark of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

* iPod は、著作権のないコンテンツまたは法的に複製、再生を許諾されたコンテンツを個人が私的に複製、再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。

iPod® を再生する

1 POWER を押して本機の電源を入れる。

2 MODE を押して、表示モードを選ぶ。
押すたびに、モードが切り替わります。



表示モード	ブラウズモード	リモートモード
表示するディスプレイ	本機のディスプレイ	iPod のディスプレイ
再生できるファイル	音声ファイル	○
	映像ファイル	×
操作できるボタン	本機と本機のリモコン	○
	iPod	×

3 △▽ でメニューを選び、ENTER または ▷ で再生したい音楽ファイルを選ぶ。

4 ▷/|| を押す。
再生をはじめます。

iPod を取り外す

- ① ■ を押す。
- ② USB ポートから iPod ケーブルを抜く。

□本機のディスプレイ表示を切り替えるには (ブラウズモードのみ)

- 再生中に INFO ボタンを押す。
• ボタンを押すたびに切り替わります。



□リモコンのボタンと iPod のボタンの対応関係

リモコンのボタン	iPod のボタン	本機の動作
▷/	▶	再生 • リモートモード時は再生 / 一時停止
◀◀, ▶▶	◀◀, ▶▶	オートサーチ(頭出し)
◀◀, ▶▶ (長押し)	◀◀, ▶▶ (長押し)	マニュアルサーチ(早戻し、早送り)
◀◀, ▶▶		
△▽	Click Wheel	カーソル上下左右
◀	MENU	メニューの呼び出し / メニューのリターン
▷ または ENTER	Select	設定の確定 / 再生
MODE	-	ブラウズモードとリモートモードの切り替え
RANDOM	-	ランダム再生
REPEAT	-	リピート再生

□再生中にできる操作 (15 ページ)

ご注意

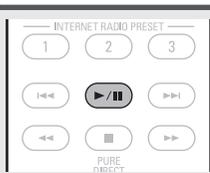
- 万一、iPod のデータが消失または損傷しても、弊社は一切責任を負いません。
- iPod のソフトウェアのバージョンによっては、本機で操作できない場合があります。

再生中にできる操作

再生を一時停止する

再生中に **▶/||** を押す。
ディスプレイの **||** 表示が点灯します。

- **▶/||** を押すと、通常の再生に戻ります。



再生を停止する

再生中に **■** を押す。
再生を停止します。



頭出しをする (スキップ)

再生中に **⏮** または **⏭** を押す。
• ボタンをくり返し押すと、押した回数だけトラックをスキップします。

- **⏮** を一回押すと現在再生中のトラックの先頭に戻ります。



早送り / 早戻しをする (サーチ)

再生中に **⏪** または **⏩** を押す。



より高音質な再生をする (ピュアダイレクトモード)

停止中に **PURE DIRECT** を押す。

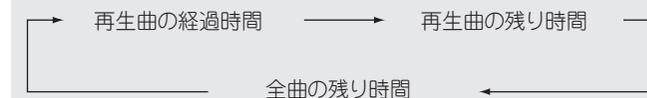
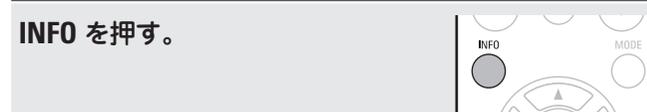


- 各モードのときの本機の状態は次のとおりです。

モード 1	モード 2
• ディスプレイ：消灯	• ディスプレイ：消灯
• デジタル出力：有効	• デジタル出力：無効
OFF ←	
• ディスプレイ：点灯	
• デジタル出力：有効	

ディスプレイ表示を切り替える

INFO を押す。

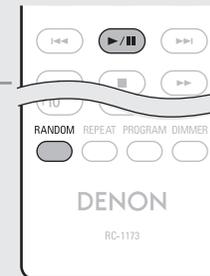


- ボタンを押すたびに切り替わります。

ランダム再生をする

1 停止中に **RANDOM** を押す。
“RANDOM” を表示します。

2 **▶/||** を押す。
順不同に再生をはじめます。



□ランダム再生を止めるとき

停止中に **RANDOM** を押す。
“RANDOM” 表示が消灯します。



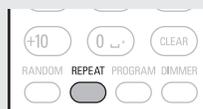
ランダム再生中に **REPEAT** を押すと、一通りのランダム再生後、違った曲順でランダム再生をおこないます。

ご注意

ランダム再生中に、ダイレクト選曲はできません。

リピート再生をする

REPEAT を押す。
リピート再生をはじめます。



• ボタンを押すたびにリピートモードが切り替わります。



↺ 1	1 曲のみをくり返して再生します。
↺ ALL	全曲をくり返して再生します。
リピートオフ (表示消灯)	通常の再生に戻ります。

好きな順に再生する (プログラム再生)

最大 25 曲までプログラムできます。

1 停止中に **PROGRAM** を押す。
“PGM” を表示します。

2 0 - 9, +10 を押して、曲番を選ぶ。

【例】

3 曲目、12 曲目、7 曲目の順にプログラムしたい場合：

[3], [+10], [2], [7] と押す。

3 ▶/|| を押す。
プログラムされた順に再生をはじめます。



□プログラムした最後の曲を取り消すには

停止中に **CLEAR** を押す。
押すたびに最後にプログラムされた曲を取り消します。

□プログラムした曲をすべて取り消すには

停止中に **PROGRAM** を押す。



- プログラム再生中に **REPEAT** を押すと、プログラムした曲順に再生をくり返します。
- プログラム再生中に **RANDOM** を押すと、プログラムした曲をランダムに再生します。

ディスプレイの明るさを切り替える

DIMMER を押す。



• 押すたびに、ディスプレイの明るさが切り替わります。

ヘッドホンで聴く

PHONES 端子にヘッドホン(別売り)プラグを差し込む。

□音量を調節する

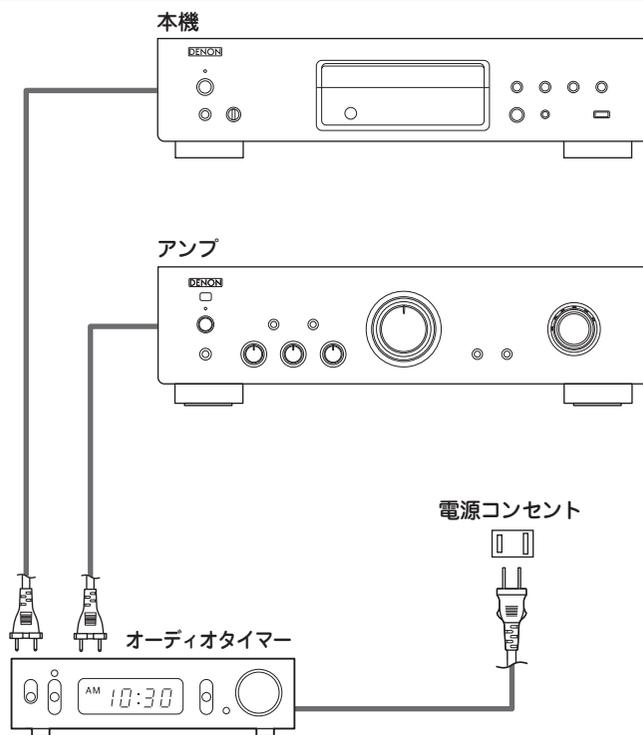
PHONES LEVEL つまみを回す。

ご注意

ヘッドホンを使用するときは、音量を上げ過ぎないように注意してください。

タイマー再生をおこなう

- 1 接続した各機器の電源を入れる。
- 2 アンプの入力切り替えボタンを、本機を接続しているファンクションに切り替える。
- 3 本機にディスクを入れるか、USB 端子に USB メモリーまたは iPod を接続する。
- 4 オーディオタイマーを希望時刻に設定する。
 - オーディオタイマーの取扱説明書もあわせてお読みください
- 5 オーディオタイマーを“ON”にする。
 - オーディオタイマーに接続された機器の電源が切れます。
 - 設定した時刻になると、自動的に各機器の電源が入り、1 曲目から再生をはじめます。



情報編

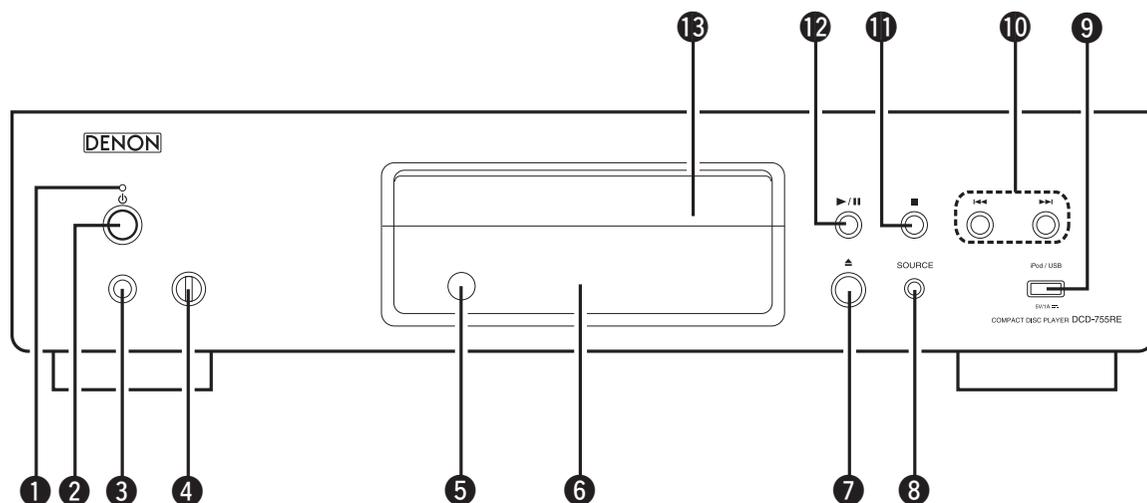
ここでは本機に関するさまざまな情報を記載しています。
必要に応じてご覧ください。

- 各部の名前とはたらき  19 ページ
- その他の情報  24 ページ
- 故障かな?と思ったら  28 ページ
- 主な仕様  30 ページ
- 索引  31 ページ

各部の名前とはたらき

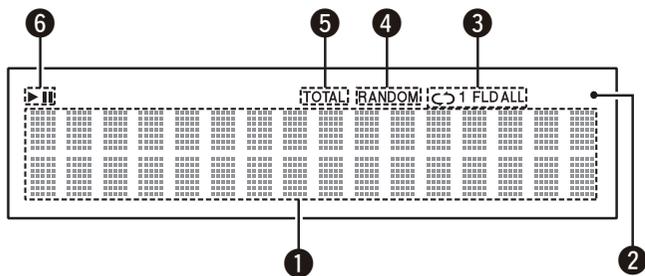
各部のはたらきなど詳しい説明については、()内のページを参照してください。

フロントパネル



- | | |
|--|--|
| ① 電源表示.....(11)
本体の状態により次のように変わります。 | ⑦ ディスクトレイ開閉ボタン (▲).....(11) |
| • 電源オン時緑色 | ⑧ 入力ソース切り替えボタン (SOURCE)..... (11, 14) |
| • 電源スタンバイ時赤色 | ⑨ iPod/USB端子.....(8) |
| • オートスタンバイモード消灯 | ⑩ スキップボタン (I◀◀, ▶▶I)(12, 13, 14) |
| • iPod チャージスタンバイモード オレンジ | ⑪ ストップボタン (■) (13, 14) |
| • 電源オフ時消灯 | ⑫ プレイ/ポーズボタン (▶/) (13, 14) |
| ② 電源スイッチ (⏻).....(11) | ⑬ ディスクトレイ |
| ③ ヘッドホンジャック (PHONES).....(16) | |
| ④ ヘッドホン音量調節つまみ
(PHONES LEVEL)(16) | |
| ⑤ リモコン受光部.....(23) | |
| ⑥ ディスプレイ(20) | |

ディスプレイ



① インフォメーションディスプレイ

ディスクの各種情報(日本語非対応)や再生経過時間などを表示します。

② リモコン受信表示

③ リピートモード表示

④ RANDOM表示

⑤ トータル時間表示

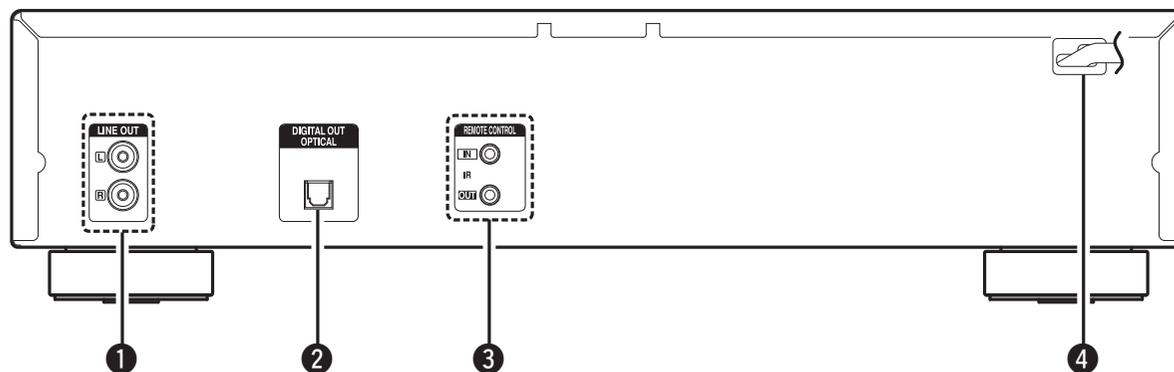
全トラック数や CD のトータル時間の表示中に点灯します。

⑥ 再生モード表示

▶ : 再生中に点灯します。

|| : 一時停止中に点灯します。

リアパネル



① アナログ出力端子 (LINE OUT) (7)

② デジタル出力端子 (DIGITAL OUT OPTICAL) (7)

③ リモートコントロール端子 (REMOTE CONTROL)

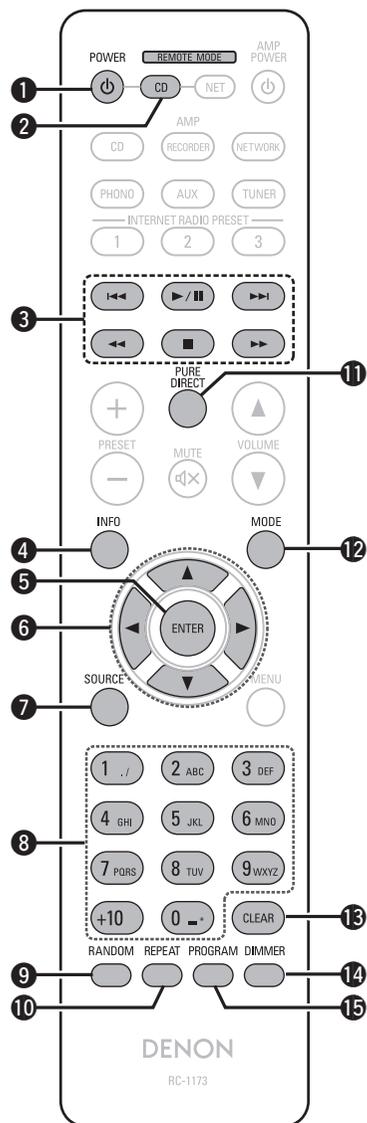
将来的な拡張用の端子です。

④ 電源コード (9)

リモコン

各部のはたらきなど詳しい説明については、()内のページを参照してください。

CD の操作



- ① 電源ボタン (POWER) (9, 11)
- ② リモートモード切り替えボタン (REMOTE MODE CD)
- ③ 再生操作ボタン (13, 14)
 - スキップボタン (I◀◀, ▶▶I)
 - 再生 / 一時停止ボタン (▶/||)
 - 早送り / 早戻しボタン (◀◀, ▶▶)
 - 停止ボタン (■)
- ④ ディスプレイ表示切り替えボタン (INFO) (15)
- ⑤ ENTERボタン (12, 13, 14)
- ⑥ カーソルボタン (△▽◀▶) (12, 13, 14)
- ⑦ ソース切り替えボタン (SOURCE) (11, 14)
- ⑧ 数字ボタン (0 - 9, +10) (11, 12, 13, 16)
- ⑨ ランダム再生ボタン (RANDOM) (13, 15, 16)
- ⑩ リピート再生ボタン (REPEAT) (12, 13, 15, 16)
- ⑪ PURE DIRECTボタン (15)
- ⑫ 再生モード切り替えボタン (MODE) (12, 13, 14)
- ⑬ CLEARボタン (16)
- ⑭ DIMMERボタン (16)
- ⑮ プログラム再生ボタン (PROGRAM) (16)

リモートモードの切り替え

CD プレーヤーを操作するときは **CD** を押して、リモコンを CD プレーヤーの操作モードに切り替えます。

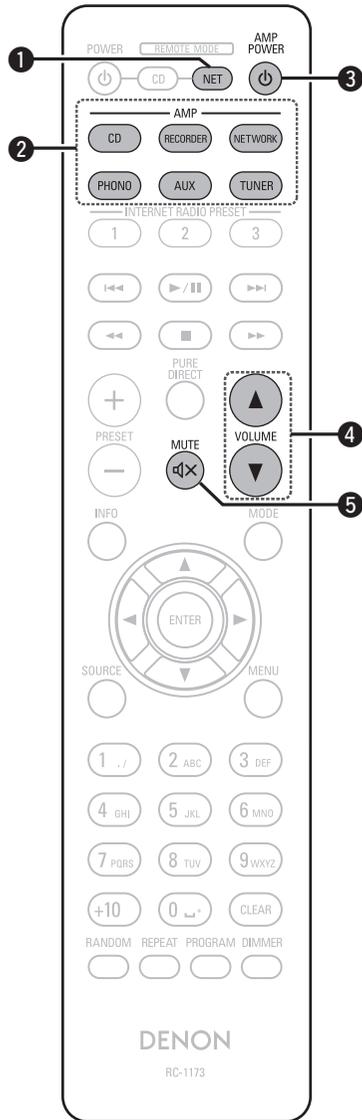
- **CD** が約 2 秒間点灯します。



リモコンの操作モードが CD プレーヤーのときも、アンプの操作ボタンでアンプを操作します。

アンプの操作

デノン製アンプを操作できます。



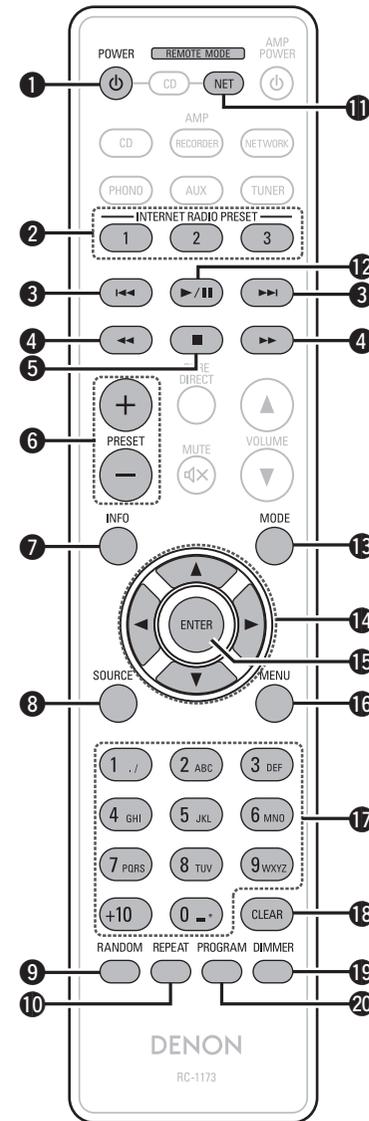
- ① リモートモード切り替えボタン (REMOTE MODENET)
- ② アンプ操作ボタン (AMP)
- ③ 電源ボタン (AMP POWER ㊤)
- ④ 音量調節ボタン (VOLUME ▲▼)
- ⑤ ミューティングボタン (MUTE ㊤X)

ご注意

一部操作ができない製品もあります。

ネットワークプレーヤーの操作

デノン製ネットワークプレーヤーを操作できます。



- ① 電源ボタン (POWER ㊤)
- ② インターネットラジオプリセットボタン (1 - 3)
- ③ スキップボタン (⏮, ⏭)
- ④ 早送り/早戻しボタン (⏩, ⏪)
- ⑤ ストップボタン (■)
- ⑥ プリセット切り替えボタン (PRESET +, -)
- ⑦ ディスプレイ切り替えボタン (INFO)
- ⑧ ソース切り替えボタン (SOURCE)
- ⑨ ランダム再生ボタン (RANDOM)
- ⑩ リピート再生ボタン (REPEAT)
- ⑪ リモートモード切り替えボタン (NET)
- ⑫ 再生/一時停止ボタン (▶/⏸)
- ⑬ 再生モード切り替えボタン (MODE)
- ⑭ カーソルボタン (▲▼◀▶)
- ⑮ ENTERボタン
- ⑯ メニューボタン (MENU)
- ⑰ 数字ボタン (0 - 9, +10)
- ⑱ CLEARボタン
- ⑲ DIMMERボタン
- ⑳ プログラム再生ボタン (PROGRAM)

リモートモードの切り替え

ネットワークプレーヤーを操作するときは **NET** を押して、リモコンをネットワークプレーヤーの操作モードに切り替えます。

- **NET** が約 2 秒間点灯します。



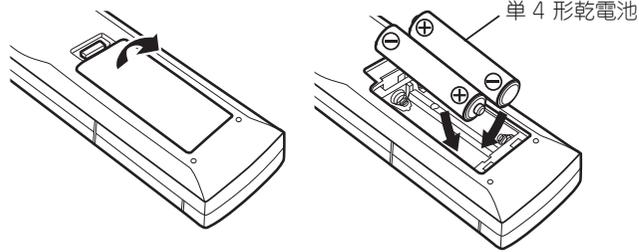
リモコンの操作モードがネットワークプレーヤーのときも、アンプの操作ボタンでアンプを操作できます。

ご注意

一部操作ができない製品もあります。

乾電池の入れかた

- ① 裏ふたを矢印の方向へ押し上げて取り外す。
- ② 乾電池(2本)を乾電池収納部の表示に合わせて正しく入れる。



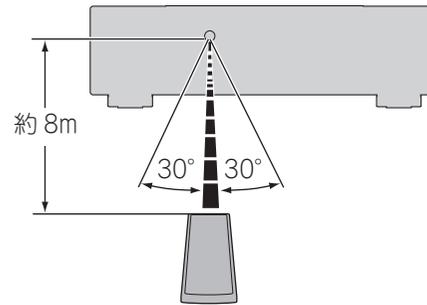
- ③ 裏ふたを元どおりにする。

ご注意

- リモコンには単4形乾電池をご使用ください。
- リモコンを本機の近くで操作しても本機が動作しないときは、新しい乾電池と交換してください。(付属の乾電池は動作確認済みです。早めに新しい乾電池と交換してください。)
- 乾電池は、リモコンの乾電池収納部の表示どおりに ⊕ 側・⊖ 側を合わせて正しく入れてください。
- 破損・液漏れの恐れがありますので、
 - 新しい乾電池と使用済みの乾電池を混ぜて使用しないでください。
 - 違う種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。
 - 乾電池は充電しないでください。
 - 乾電池をショートさせたり、分解や加熱または火に投入させたりしないでください。
 - 電池を直射日光のあたるところや暖房器具の近くなど高温になるところに置かないでください。
- 万一、乾電池の液漏れがおこったときは、乾電池収納部内についた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。
- リモコンを長期間使用しないときは、乾電池を取り出してください。
- 不要になった乾電池を廃棄するときは、お住まいの地域の条例に従って処理をしてください。
- 充電式電池をお使いの場合、正しく動作しない場合があります。

リモコンの使いかた

リモコンはリモコン受光部に向けてご使用ください。



ご注意

- リモコン受光部に、直射日光やインバーター式蛍光灯の強い光または赤外線があたると、誤動作をしたり、リモコンが操作できなくなったりする場合があります。
- 3D映像機器を構成している各ユニット(モニター、3D視聴用メガネ、3D信号伝送ユニットなど)間の信号の伝送を無線通信(赤外線通信など)でおこなっている3D映像機器をお使いの場合、その無線通信の影響によって本機のリモコンが効かなくなることがあります。そのときは3D通信の各ユニットの向きと距離を調節して、本機のリモコンの動作に影響がないことを確認してください。

再生できるメディア

ディスク

再生できるメディア	
CD	
CD-R*	
CD-RW*	

ご注意

- ご使用になるディスクや記録状態により、再生できない場合があります。
- ファイナライズされていないディスクは再生できません。

ファイル

次のフォーマットで作成された CD-R または CD-RW ディスクを再生することができます。

□ライティングソフトのフォーマット

ISO9660 レベル 1

- 他のフォーマットで記録された場合は、正しく再生できないことがあります。

□再生可能な最大ファイル数とフォルダ数

フォルダ数とファイル数の合計：512 個
最大フォルダ数：256 個

□タグ情報

ID3 タグ (Ver. 1.x と 2.x)

META タグ

(タイトル、アーティストおよびアルバムに対応)

再生できるファイル (拡張子)	ファイルの仕様
MP3 (.mp3)	<ul style="list-style-type: none">• サンプル周波数：32 / 44.1 / 48 kHz• ビットレート：32 kbps ~ 320 kbps• ファイルフォーマット：MPEG1 Audio Layer 3
WMA (.wma)	<ul style="list-style-type: none">• サンプル周波数：32 / 44.1 / 48 kHz• ビットレート：64 kbps ~ 192 kbps• ファイルフォーマット：Windows Media Audio

ご注意

- ファイルには必ず拡張子“.MP3” “.WMA” を付けてください。これら以外の拡張子を付けた場合や拡張子を付けなかったファイルは再生できません。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

USB メモリー

□USB 対応ファイルシステム

“FAT16”または“FAT32”

- USB メモリーが複数のパーティションに分かれている場合は、先頭ドライブのみ選択できます。

□再生可能な最大ファイル数とフォルダ数

1 つのフォルダの中の最大ファイル数：255 個
最大フォルダ数：255 個

□タグ情報

ID3 タグ (Ver. 1.x と 2.x)

META タグ

(タイトル、アーティストおよびアルバムに対応)

再生できるファイル (拡張子)	ファイルの仕様
MP3 (.mp3)	<ul style="list-style-type: none">• サンプル周波数：32 / 44.1 / 48 kHz• ビットレート：32 kbps ~ 320 kbps• ファイルフォーマット：MPEG1 Audio Layer 3
WMA (.wma)	<ul style="list-style-type: none">• サンプル周波数：32 / 44.1 / 48 kHz• ビットレート：64 kbps ~ 192 kbps• ファイルフォーマット：Windows Media Audio



本機は、著作権保護のかかっている音楽ファイルのみを再生することができます。

- インターネット上の有料音楽サイトからのダウンロードコンテンツには著作権保護がかかっています。また、パソコンで CD などからリッピングする際に WMA でエンコードすると、パソコンの設定により著作権保護がかかる場合があります。

ご注意

- USB メモリーを抜き差しするときは、必ず本機の電源を切ってからおこなってください。USB メモリーやメモリー内のデータが破損する恐れがあります。
- 本機は MP3 プレーヤー、デジタルカメラ、携帯電話などの USB 機器には対応していません。
- 本機は USB 機器の充電に対応していません。
- 本機はカードリーダー、USB 延長ケーブル、USB ハブには対応していません。

MP3 や WMA ファイルの再生順番について

MP3 や WMA ファイルを記録しているフォルダが複数ある場合、本機がメディアを読み取るときに自動的に各フォルダの再生順番を設定します。各フォルダの中のファイルを、ファイルがメディアに記録された日時が古いファイルから順に再生します。

CD-R/CD-RW

CD-R や CD-RW ディスクに記録しているファイルは、第一階層のすべてのフォルダにあるファイルを再生したあとに第二階層のすべてのフォルダ、第三階層のすべてのフォルダ・・・の順番に再生します。

USB メモリー

USB メモリーに記録しているファイルは、第一階層の最初のフォルダにあるファイルを再生したあとに、そのフォルダ内にある第二階層のフォルダ、第三階層のフォルダ・・・を再生し、次に別の第一階層のフォルダ・・・の順番に再生します。



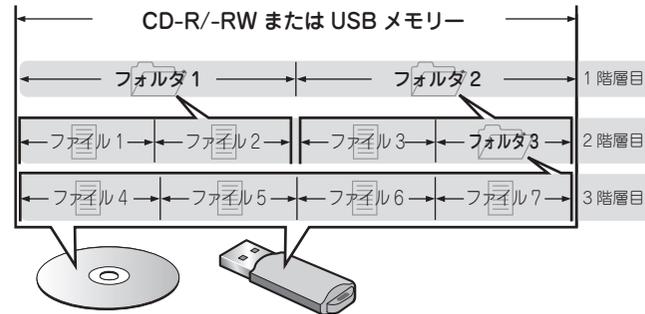
- パソコン上で表示される順番と実際に再生する順番が異なる場合があります。
- CD-R/CD-RW のライティングソフトによっては、再生する順番が変わる場合があります。

ご注意

USB メモリーのフォルダやファイルの削除や追加をおこなうと、記録順とは違う順に再生をする場合があります。これはデータ記録上の仕様によるもので、故障ではありません。

フォルダーとファイルについて

CD-R/-RW や USB メモリーに記録された MP3 や WMA ファイルは、いくつかの大きな区切り(フォルダ)と小さな区切り(ファイル)に分けられています。ファイルはフォルダに、フォルダはいくつかの階層に分けて記録させることができます。本機は 8 階層まで認識できます。



MP3 や WMA のファイルを CD-R/-RW に書き込む場合、ライティングソフトのフォーマットは「IS09660」でおこなってください。他のフォーマットで記録された場合、正常に再生できないことがあります。詳しくは、ご使用のライティングソフトの説明書をご覧ください。

メディア使用時のご注意

ディスクの入れ方

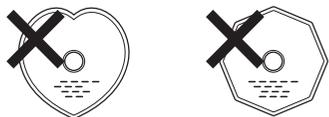
- 記録面を下にして入れてください。
- ディスクトレイが完全に開いた状態でディスクを入れてください。
- ディスクは、トレイガイドに合わせて、水平に載せてください。



再生できないディスクを入れた場合、またはディスクを裏返しに入れた場合は、本機のディスプレイに“NO DISC”を表示します。

ご注意

- ディスクは1枚だけ入れてください。2枚以上重ねて入れると故障の原因になり、ディスクを傷つけることにもなります。
- ひび割れや変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。
- レンタルディスクのラベルやゼロハンテープなどの糊がはみ出したものや、剥がした痕があるディスクは使用しないでください。そのまま使用すると、ディスクが取り出せなくなり、故障の原因になることがあります。
- 特殊形状のディスクの再生は、故障の原因になりますので使用しないでください。



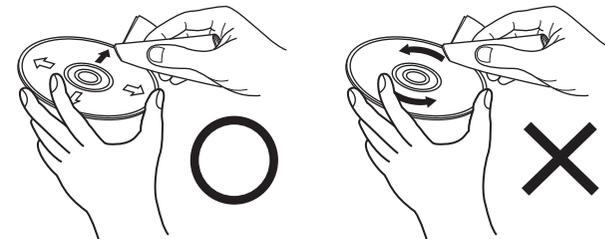
- 電源がスタンバイ状態で、ディスクトレイを手で押し込まないでください。故障の原因となります。

メディアの取り扱いについて

- 指紋・油・ゴミなどを付けないでください。
- ディスクに傷をつけないよう、特にケースからの出し入れにはご注意ください。
- 曲げたり、熱を加えたりしないでください。
- ディスクの中心の穴を大きくしないでください。
- ディスクのラベル面(印刷面)にボールペンや鉛筆などで文字を書いたり、ラベルなどを貼り付けたりしないでください。
- ディスクを屋外など寒いところから急に暖かいところへ移すと、ディスクの表面に水滴がつくことがあります。ヘアードライヤーなどで乾かささないでください。
- USBメモリーの再生中にUSBメモリーを抜いたり、本機の電源をスタンバイにしないでください。ファイルが壊れて、故障の原因になることがあります。
- USBメモリーは分解したり、修理したりしないでください。
- 静電気によって、USBメモリーやファイルが壊れることがあります。USBメモリーの金属端子部を指などで触らないでください。
- 変形したUSBメモリーを使用しないでください。
- ご使用後は、必ずディスクやUSBメモリーを取り出し、ほこりや傷、変形などを避けるため、必ず専用のケースに入れてください。
- 次のような場所に置かないでください。
 1. 直射日光が長時間当たるところ
 2. 湿気・ほこりなどが多いところ
 3. 暖房器具などの熱が当たるところ

ディスクのお手入れの仕方

- ディスクに指紋や汚れが付いたときは、汚れをふき取ってからご使用ください。
- ふき取りには、市販のディスククリーニングセットまたは柔らかい布などをご使用ください。



内周から外周方向へ軽くふく。

円周に沿ってはふかない。

ご注意

レコードスプレー・帯電防止剤や、ベンジン・シンナーなどの揮発性の薬品は、使用しないでください。

用語の解説

A

AL32 Processing

再生音を自然界に存在したはずのアナログ波形に近づけるための、DENON が独自に開発したアナログ波形再現技術です。LPCM 信号の D/A 変換時に生じる量子化歪を抑え、音楽の繊細なニュアンスを小音量の信号まで最適に再現します。本機ではすべてのチャンネルに採用しています。

M

MP3 (MPEG AudioPlayer 3)

音声データ圧縮方式のひとつで、国際的な標準規格です。映像圧縮方式の「MPEG-1」に採用されています。音楽 CD レベルの音質を保ったまま、約 1/11 のデータ容量に圧縮しています。

W

WMA (Windows Media Audio)

米国 Microsoft Corporation によって開発された音声圧縮技術です。WMA ファイルは、米国 Microsoft Corporation より認証を受けたアプリケーションを使用してエンコードしてください。もし、認証されていないアプリケーションを使用すると、正常に動作しないことがあります。

さ

サンプリング周波数

サンプリングとは、音の波(アナログ信号)を一定時間の間隔で刻み、刻まれた波の高さを数値化(デジタル信号化)することです。1 秒間に刻む回数をサンプリング周波数といい、この数値が大きいほど原音に近い音を再現できます。

た

ダイナミックレンジ

機器が出すノイズに埋もれてしまわない最小音と、音割れしない最大音との音量差のことです。

は

ビットレート (Bit rate)

ディスクに記録された映像 / 音声データを 1 秒あたりに何ビットのデータを処理したかを表わします。

ピュアダイレクト (Pure direct)

表示部およびデジタル出力をオフにして、音声信号をより高音質で再生することができる機能です。

ファイナライズ

録音された CD-R/CD-RW を再生対応機で再生できるように処理することです。

ら

リニア PCM

圧縮していない PCM (Pulse Code Modulation) 信号です。CD の音声と同じ方式ですが、BD や DVD では 192kHz、96kHz、48kHz などのサンプリング周波数を用いており、CD よりも高音質の音声が楽しめます。

故障かな？と思ったら

□ 各接続は正しいですか

□ 取扱説明書に従って正しく操作していますか

本機が正常に動作しないときは、次の表に従ってチェックしてみてください。

なお、この表の各項にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。

もし、お買い上げの販売店でお分かりにならない場合は、弊社のお客さま相談窓口またはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。

【共通】

症状	原因	対策	関連ページ
ディスクホルダーが開閉しない。	•電源が入っていない。	•電源を入れてください。	11
ディスクを入れても“NO DISC”表示になる。	•ディスクが正しく入っていない。	•ディスクを入れ直してください。	26
ディスクを入れても“00 Tr 00 : 00”表示になる。	•CD以外のディスクが入っている。	•CDを入れてください。	26
▶/ ボタンを押しても再生しない。	•ディスクが汚れたり、傷が付いたりしている。	•ディスクの汚れを拭き取るか、他のディスクと入れ替えてください。	26
音が出ない。または歪む。	•出力コードが正しくアンプに接続されていない。 •アンプの各種調節やファンクションが不適切。	•接続を確かめてください。 •アンプのつまみ類やファンクションを確認し、調節してください。	7, 8, 9 -
ディスクの特定の場所が正しく再生できない。	•ディスクが汚れたり、傷が付いたりしている。	•ディスクの汚れを拭き取るか、他のディスクと入れ替えてください。	26
プログラム再生ができない。	•プログラム方法が違っている。 •MP3/WMAのディスクではプログラム再生はできません。	•正しくプログラムしてください。 •CDを使用してください。	12 12

症状	原因	対策	関連ページ
CD-R/CD-RWが再生できない。	•ファイナライズされていない。 •記録状態が悪い。またはディスク自体の品質が悪い。	•ファイナライズをしてから、再生してください。 •正しく記録されたディスクをご使用ください。	27 24
リモコンを操作しても正しく動作しない。	•乾電池が消耗している。 •本機とリモコンが離れ過ぎている。	•新しい乾電池を入れ替えてください。 •本機にリモコンを近づけてください。	23 23
MP3やWMA形式で記録されたファイルを再生すると“Not Support”表示になる。	•「著作権保護されたWMAファイル」または「正しく再生できないファイル」を選んでいる。	•◀または▶ボタンで別のファイルを選んでください。	12

【iPod】

症状	原因	対策	関連ページ
iPodが再生できない。	•ケーブルが正しく接続されていない。	•接続をやり直してください。	8

【USB メモリー】

症状	原因	対策	関連ページ
USB メモリー接続時、ディスプレイに“NO DEVICE”を表示する。	<ul style="list-style-type: none"> 接続不良などで、本機が USB メモリーを認識できない。 マスストレージクラスまたは MTP 以外の USB メモリーを接続している。 本機が認識できないデバイスを接続している。 USB ハブ経由で接続している。 	<ul style="list-style-type: none"> 接続を確認してください。 本機は、マスストレージクラスまたは MTP 対応の USB デバイスに対応しています。それ以外の USB メモリーは認識できません。 故障ではありません。すべての USB メモリーに対して、動作や電源の供給を保証するものではありません。 USB ハブを経由した接続はできません。また、ハブ機能を内蔵した USB デバイスも再生できません。 	8
USB デバイス内のファイルが再生できない。	<ul style="list-style-type: none"> USB デバイスのフォーマットが、FAT16 または FAT32 以外のフォーマットになっている。 複数のパーティションに分かれている。 ファイルが対応しているフォーマット以外で記録されている。 著作権保護のかかったファイルを再生しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> フォーマットを FAT16 または FAT32 に設定してください。詳しくは、USB デバイスの取扱説明書をご覧ください。 複数のパーティションに別れている場合は、第 1 パーティション以外は再生できません。 対応しているフォーマットで記録してください。 本機では著作権保護のかかったファイルを再生することができません。 	- - 24 24

保証と修理について

□保証書

この製品には保証書が添付されています。保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

保証期間はご購入日から 1 年間です。

保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

ご注意

保証書が添付されない場合は、有料修理になりますので、ご注意ください。

保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料修理致します。有料修理の料金については、「製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内」に記載の、お近くの修理相談窓口へお問い合わせください。

□修理を依頼される時

修理を依頼される前に

- 取扱説明書の「故障かな?と思ったら」の項目をご確認ください。
- 正しい操作をしていただかずに修理を依頼される場合がありますので、この取扱説明書をお読みいただき、お調べください。

修理を依頼される時

- 添付の「製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内」に記載の、お近くの修理相談窓口へご相談ください。
- 修理を依頼される時のために、梱包材は保存しておくことをおすすめします。

□依頼の際に

連絡していただきたい内容

- お名前、ご住所、お電話番号
- 製品名 …… 取扱説明書の表紙に表示しています。
- 製造番号 … 保証書と製品背面(または底面や側面)に表示しています。
- できるだけ詳しい故障または異常の内容

□補修部品の保有期間

本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後 8 年です。

□お客様の個人情報の保護について

- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- この商品に添付されている保証書によって、保証書を発行している者(保証責任者)およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

主な仕様

□ オーディオ特性

• アナログ出力

チャンネル:	2チャンネル
再生周波数範囲:	2 Hz - 20 kHz
再生周波数特性:	2 Hz - 20 kHz
S/N比:	112 dB
ダイナミックレンジ:	100 dB
高周波歪率:	0.0025 % (1 kHz)
ワウ・フラッター:	測定限界以下
出力レベル:	2.0 V (10 k Ω)
信号方式:	16ビット・リニア PCM
サンプリング周波数:	44.1 kHz
使用ディスク:	コンパクトディスク

• デジタル出力

OPTICAL:	-15 - -21 dBm
発行波長:	660 nm

□ 総合

電源:	AC 100 V 50/60 Hz
消費電力:	22 W(電気用品安全法による)
スタンバイモード時の消費電力:	0.3 W

※仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

※本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では使用できません。

※本機は国内仕様です。

必ず AC100V のコンセントに電源プラグを差し込んでご使用ください。AC100V 以外の電源には絶対に接続しないでください。



索引

☞ 数字

1 曲リピート 12

☞ A

AL32 Processing 26

☞ C

CD 23

CD-R/-RW 23, 24

☞ I

iPod 13

☞ M

MP3 12, 23, 26

☞ U

USB メモリー 14, 23, 24

☞ W

WMA 12, 23, 26

☞ い

一時停止 15

☞ か

拡張子 23

☞ け

ケーブル

USB ケーブル 7

オーディオケーブル 7

光伝送ケーブル 7

☞ こ

故障かな?と思ったら 27

☞ さ

サーチ 15

再生

CD 11

iPod 13

MP3 12

USB メモリー 14

WMA 12

サンプリング周波数 23, 26

☞ す

スキップ 15

☞ せ

接続

CD レコーダー 7

iPod 8

MD レコーダー 7

USB メモリー 8

アンプ 7

電源コード 9

接続に使用するケーブル 7

全曲リピート 12, 16

☞ そ

操作

一時停止 15

スキップ 15

停止 15

早送り / 早戻し 15

ピュアダイレクト 15

プログラム再生 16

ランダム再生 15

リピート再生 16

☞ た

ダイナミックレンジ 26

タイマー再生機能 17

☞ て

停止 15

ディスプレイ 20

ディスプレイの表示切り替え 15

ディスプレイの明るさ 16

電源コード 9

☞ は

早送り 15

早戻し 15

☞ ひ

ビットレート 23, 26

ピュアダイレクト 15, 26

☞ ふ

ファイナライズ 26

ファイル 23

フォルダー 24

フォルダーモード 12, 14

付属品 5

フロントパネル 19

☞ へ

ヘッドホン 16, 19

☞ ら

ランダム再生 15

☞ り

リアパネル 20

リニア PCM 26

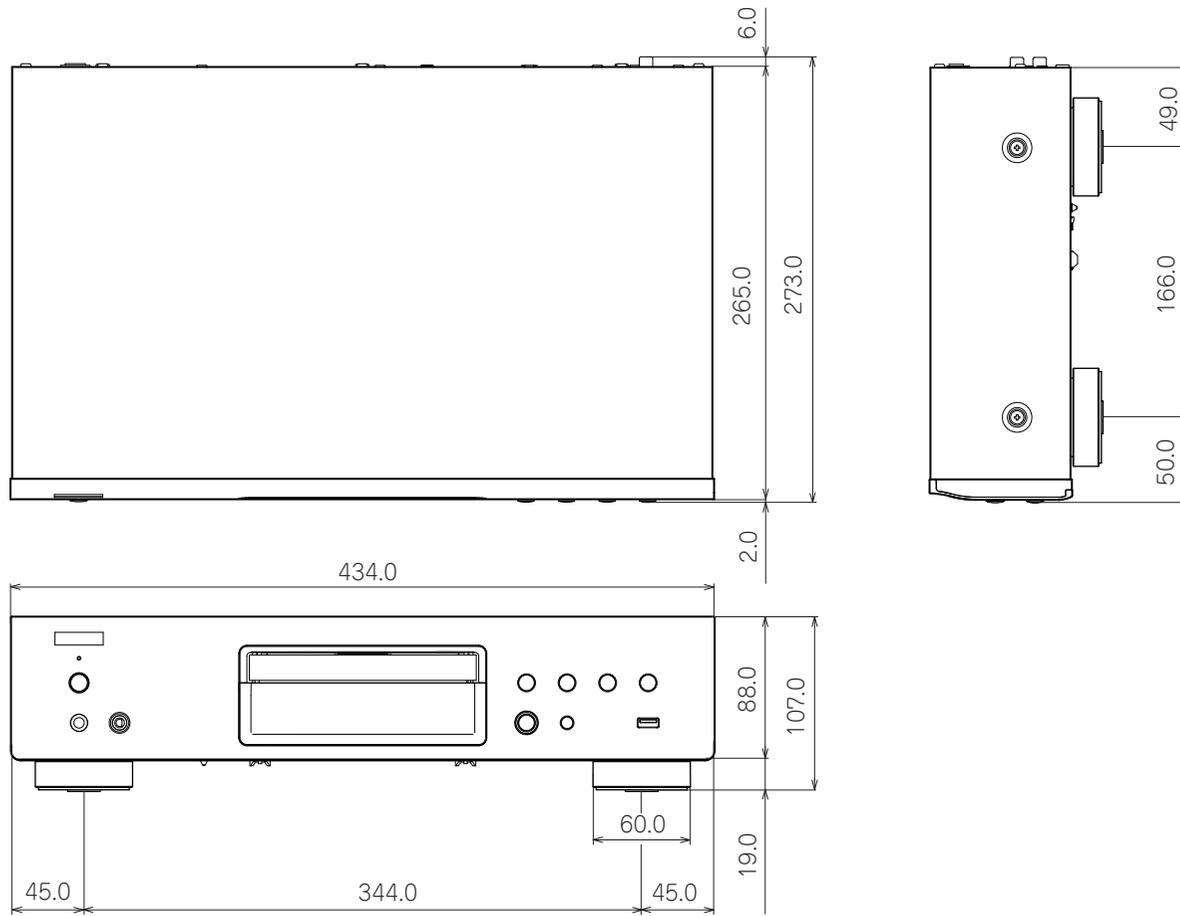
リピート再生 12, 16

リモコン 21

電池の入れかた 22

寸法

単位：mm



質量：4.1 kg







当社製品のご相談と修理についてのお問い合わせは、お買い上げ店または下記窓口にご連絡ください。

お客様相談センター

 0570 (666) 112

FAX : 044 (330) 1367

- 受付時間 9:30 ~ 17:30
(当社休日および祝日を除く、月~金曜日)
- 上記番号がご利用いただけない場合  050 (3388) 6801
〒210-8569 神奈川県川崎市川崎区日進町2番地1 D&Mビル
- お問い合わせをいただく前に、ホームページのFAQをご確認ください。
<http://denon.jp/jp/html/faq.html>
- メールでお問い合わせをいただくこともできます。
<http://denon.jp/jp/html/contact.html>

* 電話番号・ファックス番号・URL は変更になる場合があります。

修理相談窓口

 0570 (666) 811

- 受付時間 9:30 ~ 12:00、13:00 ~ 17:30
(当社休日および祝日を除く、月~金曜日)
 - 上記番号がご利用いただけない場合  0466 (86) 9520
 - 故障・修理・その他のサービス関連情報については、次の当社ホームページでもご確認いただけます。
<http://denon.jp/jp/html/service.html>
 - 代表修理窓口
首都圏サービスセンター
〒252-0816 神奈川県藤沢市遠藤2010-16
FAX : 0466 (86) 9522
- * ディーアンドエムホールディングス本社では製品の修理を受け付けておりません。

DENON®

株式会社 ディーアンドエムホールディングス

〒210-8569

神奈川県川崎市川崎区日進町2番地1 D&Mビル